

薬剤部だより

No.130

山口大学病院薬剤部 2000.11.14



術後感染予防における抗生物質の適正使用基準が出ました

感染対策委員会より、『術後感染予防における抗生物質の適正使用基準』が出されました。今一度、各診療科で使用されている抗生物質の種類・使用期間を見直して下さい。

手術部位	薬剤名	投与期間		
小手術	第一世代・第二世代セフェムもしくは広域ペニシリンの単剤の経口投与	2日以内		
	無菌	第一世代または第二世代セフェム	1～2日	
		第一世代セフェムまたは広域ペニシリン	1～2日	
		第一世代または第二世代セフェム 第二世代セフェム	3～5日 4～5日	
		第一世代または第二世代セフェム	4～5日	
	準無菌	第一世代または第二世代セフェム	3～5日 4～5日	
		第一世代・第二世代セフェムまたは広域ペニシリン	4～5日	
		第一世代または第二世代セフェム	1～2日	
		消化器	上部消化管	
			下部消化管	
呼吸器		肺		
	頭頸部			
感覚器	耳			
	眼			

※投与している抗生物質の効果判定は3～4日毎に行い、熱型・白血球数・CRPを指標とする。術後4日を経過しても発熱が持続し、上記指標が正常範囲にない場合には感染の併発を考慮して、抗生物質の変更を含め対応が必要となります。(2682 試験室)

転倒防止のため睡眠剤投与には細心の注意を

寝つきが悪い、早く目が覚めるなど患者さんの訴えで睡眠剤を使用するケースが多いと思います。投与の際には、注射薬等との重複はないか、初めて飲まれる方か、体重は、腎機能は、などよく考慮した上で投与しましょう。睡眠剤による転倒事故が防げるはずですが、

処方される先生方、ご注意ください

以前、『薬品の取り扱いに注意を要する事例一覧』を配布しましたが、今回新規常備薬追加に伴い、新たに注意を要する薬剤がありますので、処方される際にはご注意ください。

《薬品名が似ている》

アマリール(血糖降下薬)	アルマール(α, β 遮断薬)
マイスタン(抗てんかん薬)	マイソリン(抗てんかん薬)
モーラス	モーステープ

《薬品名が同一で含量が異なる》

アマリール	1mg錠	3mg錠
ジスロマック	100mg Cap	250mg錠
マイスタン	5mg錠	10mg錠
ルブラック	4mg錠	8mg錠
タココンプ	9.5×4.8	4.7×4.8
		3.0×2.5

1 外科外来の抗癌剤混注を開始しました

11月8日(水)より1外科外来においても抗癌剤混注を開始しました。これまでの抗癌剤調製件数は、1998年度:814件(月平均:68件)、1999年度:1409件(月平均:117件)、2000年度(10月まで):1002件(月平均:143件)です。先月号でお知らせした『抗癌剤チエックスシステム』も本稼働し、これから一層チエックス機能を高めたいと思います。

ダンリッチ Cap のカラーイラスト入り説明文書を提供

ダンリッチ Cap の成分である『フェニルプロパノールアミン』で脳出血のリスクが高まるとの報告がなされました(この成分はOTC薬にも含有されています)。11月9日(木)より患者さんへのカラーイラスト入り説明文書を提供しています。

年末年始用の処置薬は早めに請求を

年末年始に使用予定の処置薬の請求は12月15日(金)までです。なお、来年の初回払出は1月11日(木)となりますので、忘れないように請求して下さい。

CRC研修を受け入れていきます

11月13日(月)から11月17日(金)まで、治験管理センターにて治験コーディネーター(CRC)短期研修を行います(薬剤師1名)。病棟を訪れる機会もあろうかと思いますが、その節はよろしく願います。